

造影MRI検査（腹部）のご案内

※別紙「MRI検査における注意事項」をお読みになってからご覧ください

MRI検査とは？

- ・強い磁石と電波を使用して、体の内部を撮像する検査です。縦・横・斜め等あらゆる角度から体の断面を撮像することができます。
- ・レントゲンやCTと異なり、放射線を使用しませんので被ばくの心配はありません。
- ・この検査の原理および構造により検査を受けられない方もいらっしゃいます。別紙の「MRI検査における注意事項」を参考に、何かあれば担当職員にお申し出ください。
- ・検査中は検査台に寝て、円筒の中に入っていきます。
- ・合図に合わせて息止めしていただく場合があります。
- ・検査室に入ってから検査時間は30分ほどかかります。
検査時間が長いため、事前にお手洗いを済ませてください。
- ・検査前に説明や問診、お着換え等準備があることもありますのでご了承ください。
- ・検査直前に点滴をして、その針から造影剤を流します。



▲ MRI装置：Philips社 1.5T MRI Achieva

MRI検査 前 の注意事項

- ・午前の検査は朝食、午後の検査は昼食を摂らないでください。
食事によって病変が見えなくなる可能性がありますのでご協力をお願いします。
- ・飲み物に関しては、検査の3時間前から牛乳やコーヒー、ジュース、1時間前からはお水も飲まないでください。
- ・現在服用中の薬は医師の指示に従い、普段通り服用してください。
- ・金属のものを身に付けたまま検査を受けることはできません。別紙の「MRI検査における注意事項」を参考に事前に外せるものは外してください。衣服によってはお着換えしていただく場合があります。

MRI検査 後 の注意事項

- ・検査後、安静などの必要はありません。食事や入浴など日常生活は普段通りで構いません。
(ほかの検査がある場合はそちらの指示に従ってください)



MRI検査における注意事項



※MRI検査室は強い磁場が発生しているため、次の注意事項を守ってください

1. 検査時間は撮像する部位にもよりますが、30分程度要します。
検査の準備のために問診や着換え等ありますので、予約時間の**30分以上前まで**にお越しください。

2. 次のような装置・器具の体内金属がある方は検査を**受けることができません**。

※MRI対応の装置、機器もございますが、対応できない場合があります。

- 心臓ペースメーカーや除細動器（ICD）などの不整脈治療デバイス
- 神経刺激装置
- 人工聴器
- 注入ポンプ
- 磁石を使用した入れ歯（インプラント）、義眼



3. 次の項目に該当する方は検査を**受けることができない場合があります**。

- 脳動脈瘤クリップの手術を受けたことがある方
- 磁力で流量調整を行うシャントチューブバルブ等を装着している方
- 妊娠中、もしくは妊娠の可能性がある方
- 心臓人工弁・人工関節・ステント・プレートなどが体内にある方
- 入れ墨、タトゥーを入れている方
- 閉所恐怖症の方



4. 次の項目に該当するものは磁場の影響により故障や破損、熱傷、画像に影響を及ぼす可能性があるため、**検査前に外していただきます**。

- 身に付けている金属類

（時計・指輪・ネックレス・イヤリング・ヘアピン・カギ・カラーコンタクトレンズ・メガネ・入れ歯・コルセット・ベルト・ピアス・カイロ・金属を使っている杖・財布・かつら・その他金属類）

- 時計、電卓、補聴器、携帯電話などの電子機器や精密機械
- 磁気カード（クレジットカード、キャッシュカード、診察券等）
- 小さな円盤状の磁気治療器（エレキバン等）、湿布薬、カイロ
- 金属繊維を使用した肌着、コルセット、固定具（ブラジャーやコルセット等）
- 顔料として金属を含んだ化粧品（アイライン・マスカラ・アイシャドウ等）
- 医療機器リブレセンサー（血糖測定器）



5. その他注意事項

- ・検査中は「コンコンコン」と大きな連続音が聞こえますが、なるべくうるさくないようヘッドフォンで対応します。耳栓もご用意していますので必要な方は担当職員にご相談ください。
- ・より詳しい画像を撮像するために造影剤という薬を使用することがあります。腕の血管から検査の途中に造影剤を注入したり、検査前に飲んで頂く造影剤もあります。
- ・検査中は連絡ブザーを持っていただきます。検査途中で気分が悪くなるようでしたらブザーでお知らせください。
- ・その他、不明な点があれば担当職員にお尋ねください。